

GPS 安全性要約書

苛性ソーダ(48%)

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認ください。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明	
三井化学の製品名	苛性ソーダ(48%)	
化学名 (別名)	水酸化ナトリウム水溶液	
成分	水酸化ナトリウム	水
CAS 番号	1310-73-2	7732-18-5
濃度 (%)	48	52
分子式	NaOH	H ₂ O
構造式	Na-OH	H-O-H
官報公示整理番号	化審法 : (1)-410 安衛法 : 既存	化審法 : 対象外

2. 物質の概要 (General statement)

苛性ソーダ(48%)は、無色で無臭の液体です。水に容易に混合します。

一般的に、主成分の水酸化ナトリウムは、化学繊維・紙・パルプ製造用、有機薬品・無機薬品・医薬・農薬・染料中間体製造用、グルタミン酸ソーダ原料、食品製造用などに用いられています。

苛性ソーダ(48%)は重篤な皮膚の薬傷と重篤な眼の損傷をもたらします。一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器系に障害を与えます。

苛性ソーダ(48%)が水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いと考えられます。環境中に放出された場合は主に水域に移行すると考えられます。水溶解性が高いことから生体内には蓄積しないと考えられます。

作業者が苛性ソーダ(48%)を取り扱う場合は、ミストが発生しないように管理して下さい。密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。主成分の水酸化ナトリウムについては、ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による Ceiling* は 2 mg/m³ ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、水酸化ナトリウムに対応した防じんマスクの使用を考慮して下さい。皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服の検討下さい。

消費者が苛性ソーダ(48%)を含む製品を使用する場合には、商品付属の取扱説明書に従って使用して下さい。

環境への影響を最小化するために、苛性ソーダ(48%)またはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

*: 7. 推奨するリスク管理措置 を参照して下さい。

3. 製品情報 (Product information)

三井化学の苛性ソーダ(48%)は、工業廃水の中和、パルプ製造原料、メッキの脱脂処理等に使用されています。一般的に、主成分の水酸化ナトリウムは、化学繊維・紙・パルプ製造用、有機薬品・無機薬品・医薬・農薬・染料中間体製造用、グルタミン酸ソーダ原料、食品製造用に用いられています。

(出典 :NITE CHRIP IV. 暴露情報 IV.暴露情報

http://www.safe.nite.go.jp/japan/soukou/view/ComprehensiveInfoDisplay_ip.faces)

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社

<https://www.mitsuichem.com/contact/safety/>

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

苛性ソーダ(48%)は、無色で無臭の液体です。水に容易に混合します。

特性	説明
外観	液体
色	無色
臭い	無臭

pH	14 (塩基性)
融点	10 °C
沸点	138 °C
比重	1.50 (15 °C)(水より重い)
引火点	不燃性(通常の温度範囲では引火しない)
発火点	不燃性(常温の空気と接触しても自然発火しない)
蒸気圧	0.43 kPa (20 °C) (強い揮発性がある)
水溶解性	水に容易に混合する

5. ヒト健康影響 (Health effect)

苛性ソーダ(48%)は重篤な皮膚の薬傷と重篤な眼の損傷をもたらします。一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器系に障害を与えます

影響	説明
急性毒性 (経口) (経皮) (吸入)	知見がありません 知見がありません 知見がありません
皮膚腐食性・刺激性	重篤な皮膚の薬傷をもたらします
眼に対する重篤な 損傷性/刺激性	重篤な眼の損傷をもたらします
感作性 (呼吸器) (皮膚)	知見がありません アレルギー性皮膚反応を起こす可能性は低いと予想されます
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患が生じる可能性は低いと予想されます
発がん性	知見がありません
生殖毒性	知見がありません
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	一度飲み込んだだけ、または皮膚に触れただけ、または吸入しただけでも、呼吸器系に障害を与えます
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	知見がありません

6. 環境影響 (Environmental effect)

苛性ソーダ(48%)が水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いと考えられます。環境中に放出された場合は主に水域に移行すると考えられます。主成分の水酸化ナトリウムの水溶解性が高いことから生体内には蓄積しないと考えられます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いです
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	水酸化ナトリウムは水溶解性が高く(1090 g/L at 20 °C)、蒸気圧が低いことから、苛性ソーダ(48%)が環境中に放出された場合は主に水域に移行すると考えられます。
生分解性	知見がありません
生物蓄積性	水酸化ナトリウムは水溶解性が高いことから(1090 g/L at 20 °C)、苛性ソーダ(48%)は生物には蓄積しないと考えられます。

7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

苛性ソーダ(48%)を使用する際には、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。これらリスク管理措置をとることで、作業員、消費者および環境の苛性ソーダ(48%)に対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置
作業員	<ul style="list-style-type: none">・気化しやすいので蒸気が漏洩しないように、また、ミストが発生しないように管理して下さい。密閉されていない場合、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。主成分の水酸化ナトリウムについては、ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による Ceiling* は 2 mg/m³ ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。作業環境濃度が高い場合は、水酸化ナトリウムに対応した防じんマスクの使用を考慮して下さい。* : 米国産業衛生専門家会議によって設定された、作業中のどの時点においても越えてはならない濃度・付着すると有害性のある物質が吸収されます。皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服の検討下さい。・作業管理者は作業員に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい

	・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設定して下さい
消費者	商品付属の取り扱い説明書に従って使用して下さい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・苛性ソーダ(48%)またはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014年3月4日発行

弊社ホームページにて、最新のGPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

<http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm>

(注1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

<http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances>

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/14			2010/6/9	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。